

8×10への誘い

§ 1 : 8×10 (六切) というサイズについて

明視の距離 (25~30cm) で目を動かさずに一眺できるサイズです。  
20×24インチの1/6のサイズ

§ 2 : カメラについて

a ベースボードタイプ……暗箱タイプ (フラットボードタイプ) ティアドルフ, エポニー



Uタイプ



(ジナーS, トヨビュー, アルカスス, カンボ  
フラベル

Tタイプ



ジナーP,

b モノレールタイプ……

Lタイプ



リボル, ホースマン

Hタイプ



ジナーF, トヨボス, カンボSF,

手持ち撮影がむづかしいのでプレスタタイプは5×7迄しか存在しない。

フランジバックが長いのでピント合わせを後枠移動で行なう場合が多い。

§ 3 : レンズについて

$$16-ジナル = 8^2 + 10^2 = 164$$

$$\sqrt{164} = 12.8 \text{ インチ} \approx 325 \text{ mm}$$

実測  $\approx 315$   
(196×246.5)

標準レンズは300mm

長焦点は1200mm (F18 ニッコール) までしか市販されていない。しかも標準仕様ではトヨフィールド8×10 II型しか使用出来ない。

カメラのフランジバック、レンズのフランジバック、前枠の鳥居などの制限を受ける。

レンズボードを共通にすればレンズの共用利用が可能となる。最小サイズのジナーボード (140mm) が望ましい。ジナーボードが取り付けられるアダプターボードの用意をご提案します。トヨジナー カンボジナーのアダプターボードは市販されています。

ティアドルフ, リボルについてはトヨジナーの市販品を加工して自作可能。

ジナーリボル745アダプターで45レンズが共用出来ます。

§ 4 : 撮影上の注意点 基本的に4×5判と同じです。

a …ブレ防止 …三脚は大型を、長焦点は2脚支持を、風の影響を防ぐ、

b …蛇腹の磨耗による漏光、蛇腹の弛みによるケラレ、

c …近距離撮影時の露出補正…  $(1+n) < 1.5$   $n \approx 0.225$  から 長辺 = 1.13m で50%の露光増が必要です。

d …近距離でのレンズのイメージサークルの拡大

$$Tc = 1c \times \frac{(1+n)^2}{f} = 1c \times (1+n) \quad n: \text{撮影倍率}$$

§ 5 : 被写界深度スケールについて